



世界を知る It knows the world.

このページは世界を知るをテーマに「国際協力」については、独立行政法人国際協力機構(JICA)デスク熊本のご協力を得て、日本で生活する私たちには日常知ることができない興味深い世界の状況を紹介します。

ジャカナカ(Good)ジンバブエ!

青年海外協力隊 平成23年度2次隊 職種：音楽(任地ジンバブエ、合志市出身)
むらた ちあき 村田 千明さん

マスカーティ(こんにちは)! 青年海外協力隊のピアノ教師としてジンバブエ共和国にいます村田千明です。ジンバブエ共和国と聞いて初めて聞いた国が、なんとなく聞いたことある国くらいの方が多いかもしれませんが、ジンバブエの言葉であるショナ語は、ローマ字読みと同じであり言葉にもタナカ、ゾウなど同じ発音のものがあ、遠く離れた国なのになぜかいろいろ日本との共通点がある国なのです。

ジンバブエはアフリカ大陸の南端、南アフリカ共和国の北に位置しザンビア、ボツワナ、モザンビークに囲まれた海の無い内陸国です。気候は1500メートルの高地に位置していることもあり、暑すぎず寒すぎず突き抜けるような晴天の毎日です。また、ジンバブエの識字率はヨーロッパと同等という統計が出ており、ほとんどのジンバブエ人が英語と現地語のショナ語を流暢に話します。1980年にイギリスの植民地から独立し、今はムガベ大統領の独裁政治国といわれているジンバブエですが、いまだに多くの白人がジンバブエに住み続けており、停電や断水が頻繁に起こってもなお、黒人ジンバブエ人も白人ジンバブエ人もみなジンバブエを愛しています。

そのようなジンバブエの首都ハラレにあるジンバブエ音楽学校で昨年の10月からピアノ指導にあたっています。この1月から始まったタームでは、週5コマのクラスとプライベートレッスンを受け持っています。クラスの授業では昔

から使われているイギリスのグレードに沿ってピアノの弾き方を1から教えています。1時間1コマの授業でグループレッスンのような形をとり、7台のキーボードを2人ずつシェアしながら授業を進めています。生徒はみな黒人でだいたい私くらいの年齢からおばちゃん世代の人たちです。プライベートレッスンでは1対1でピアノを教えています。プライベートレッスンは学校の生徒ではなく、子供から大人までピアノを習いたい人が来ています。ジンバブエはキリスト教が盛んで、いつも教会でゴスペルなどを歌うので、人々の音楽を演奏することに対する憧れが強いように感じます。

学校外の活動では2月4日にCHENESA HARARE(Keep it clean)と言うゴミ拾い活動を行いました。これはジンバブエにいるJICAの帰国研修員と合同企画したもので、ジンバブエ国営放送にも生出演させていただき、ゴミ拾い企画の趣旨や重要性を宣伝しました。当日は100人を超える方々が集まり、みんなでハラレガーデンを清掃し綺麗な公園を実現させることが出来ました。

その他では、老人ホームでピアノコンサートを開いたり、教会や結婚式、学校のコーラス部のコンサートでバイオリンを演奏したりしています。教えるだけでなく自分が演奏することで、ジンバブエではあまり耳にすることがないクラシック音楽を広めています。

